

**R I テマ: “ロータリーは機会の扉を開く”**

R I 会 長: ホルガー・クナーク 氏  
(所属: ドイツ、ヘルツォークトウム・  
ラウエンブルク・メルン RC)

**地区 テマ: “日本のロータリー100 周年**

**「新しいロータリーは機会の扉を開く」 ”**

地区カバナー: 古賀 英次氏(所属: 柳川 RC)

**クラブ テマ: “OPEN THE DOOR TO CHANCE ”**

会長 松永 浩 / 幹事 豊川 智彰



## 表紙写真(テーマ/山吹)

山吹の黄色は、少しだけ上品な黄色です。山吹の名所は、京都の西にある松尾大社です。お酒の神様ですが、山吹もたくさん植えられています。この山吹は拙宅の花壇の山吹で、種が飛んできて自然に咲いています。

【撮影: 辰巳 和正 会員/令和2年11月23日/小倉にて】

**例会場** リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、敬称略》

**例会日** 毎週金曜日 12:30~13:30

**事務局 e-MAIL:** kokura@2700rid.com

**事務局** 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F

**TEL** (531) 1727 **FAX** (522) 4333

**クラブ会報委員会** 委員長: 宮島 俊司

副委員長: 城 健一郎

委 員: 篠原 烈、橋爪 政博、中村 学、大川 雅弘、甲木 正子

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 本日の例会 第3460回

・ロータリーソング “我等の生業”

・会員卓話

野村證券(株) 北九州支店長

篠原 烈 氏

## 第3459回 例会 記録

### 12月11日(金)普通例会

・ロータリーソング “奉仕の理想”

・卓話

(株) 西日本新聞社 政経部長

山崎 健 氏

## 会長の時間

松永 浩 会長

本日は一年前にアフガニスタンで農業支援中に凶弾に倒れた医師中村哲さんについてお話しさせていただきます。まずは「家族愛」についてです。私は海外支援をされている方々の話を聞くと、危険なところで支援されている方への感謝と国内に残された奥様や子供たちの生活を心配してしまいます。しかし、中村哲さんの告別式でのご子息の挨拶は「いつも父は家族を思っ

てくれていました」と述べられていました。危険な異郷で大勢の命が懸かった事業に取り組む日々の中、それでも家族をいつも大切にしてくれた父。他人を思いやること、懸命に物事に臨むことの意味を背中教えてくれた父。幼い頃から僕を連れて大好きな山に登る時「できればみんなで行こうよ、みんなで行った方が楽しいよ」とよく言っていた父。多くの人命を救うため、一年のほとんどを危険なアフガンで過ごし、旅立つとき僕と2人きりの場面で「お母さんをよろしく、家を頼んだよ」と言っていた父。このようにご子息はいつも頭のどこかで家族のことを思ってくれる父でしたと話していました。中村哲さんの「家族愛」は遠く離れても残された家族への思いでいっぱいでした。この事から私は一緒に暮らしていなくても家族への絆は深まることを学びました。次に「郷土の誇り」についてです。皆様もご存じの通り、中村哲さんは玉井金五郎の孫であり、火野葦平の甥です。玉井金五郎、マン夫婦は、暴力が蔓延し不条理で埋め尽くされている若松港において、度胸と正義感で沖仲仕(おきなかし)という過酷な仕事を通じて成長していく日本を支え、事業家としても成功しました。その上、労働組合を作って労働者の権利擁護、市議会議員となり政治家としても活躍しました。「率先して弱い者をかばえ、どんな小さな命も尊べ」が中村哲さんの祖母マンさんの教えだったようです。アフガニス

タンの中村さんの部屋には金五郎さんの写真を飾っていました。「中村哲さんと金五郎さんを見ると、考え方、行動パターン、風貌までそっくりで重なる部分が多い」と言われています。玉井金五郎夫婦、火野葦平さん、中村哲さん、ギラヴァンツ北九州社長の玉井さんを世に送り出した「玉井家」は「郷土の誇り」だと思っています。「玉井家」が残したものは我々ロータリアンの I serve による職業奉仕に繋がるものだと強く感じました。

## 幹事報告

豊川 幹事

・来週は、本来であれば年忘れ家族夜間例会の予定でしたが、すでにご案内のとおり、金曜日お昼の普通例会に変更となっています。お間違えの無いようにお気をつけください。なお、食事に、特別にデザートが付きましますので楽しんでいただければと思います。

・再来週の 25 日（金）はクラブ協議会です。委員長は上半期の活動報告をしていただきますので、必ずご出席くださいますようお願いいたします。

## 出席報告

大曾根 委員長

2020 年 7 月 1 日：59 名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ
当日の出席	67 名	36 名	—
先週の出席	67 名	44 名	15 名

◆ゲスト 1 名（卓話者）

◆ビジター 0 名

## ニコニコ献金

児島 副 SAA

1,000 円 : 今年度累計金額 199,000 円

甲木 正子 君

山崎くん、今日の卓話楽しみにしています！！  
（君づけで呼ぶ間柄のようです。）

## 委員会報告

クラブ会報委員会

宮島 委員長

『ロータリーの友 12 月号』の記事の紹介です。7 ページから 9 ページには、世界のロータリーのコロナ禍での例会の事情が報告されています。感染拡大が広がる海外では、外出規制などもあり、例会はほぼオンラインになっているそうです。

また、93 ページから 90 ページには有害物質の健康に与える影響ということで、ちょっと難しいですがアレルギーに関する事などについて書かれていますので読まれてください。

## 米山功労者表彰

西村 和芳 君

第 2 回マルチプルの感謝状が贈られました。



<表彰制度について>

個人の特別寄付金の累計額が 10 万円に達したときに、第 1 回米山功労者として表彰され、感謝状が贈られます。第 2 回から第 9 回(20 万円～90 万円)に達した方を「米山功労者(マルチプル)」、第 10 回以上(100 万円以上)の方を米山功労者(メジャードナー)と呼び、10 万円ごとに感謝状、100 万円ごとにピンバッジが贈られます。

## 卓話

(株) 西日本新聞社 政経部長

山崎 健 氏

『トランプ退場 「新冷戦」の行方』



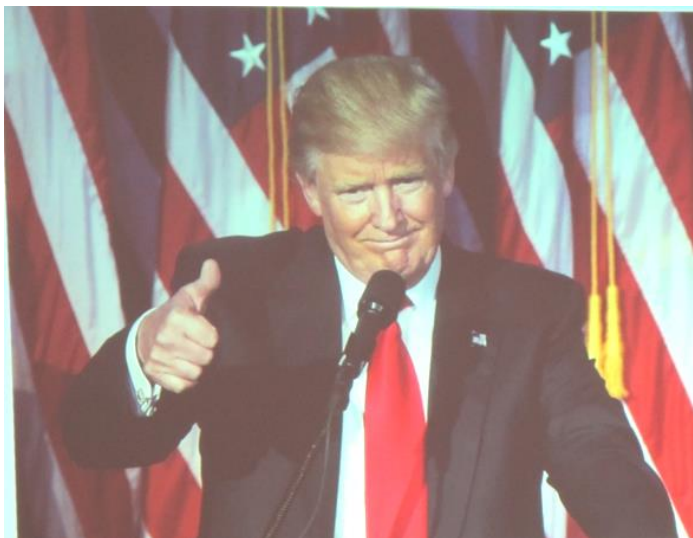
2013 年 8 月から約 3 年半、米国のワシントン支局に勤務。4 年前の大統領選で、世界中の予想を覆してドナルド・トランプ氏がヒラリー・クリントン氏を破って第 45 代米合衆国大統領に就任した現場取材した。そのトランプ氏を今回、バイデン前副大統領が破った。トランプ氏は今なお「選挙に不正があった」と主張しているが、来年 1 月 20 日にはバイデン新政権が確実に発足する。本日は、トランプ時代に「新冷戦」とも言われるほど緊迫化した米中関係の今後の行方について私なりにお話しさせていただく。

トランプ政権の 4 年間を振り返ると、米国第一を掲げ、これまで国際社会を主導してきた米国が国際協調路線から撤退した姿が顕著だった。オバマ政権が推進



した環太平洋連携協定（TPP）への不参加、地球温暖化対策の国際社会の新しい枠組みであるパリ協定からの脱退、新型コロナウイルスを巡っては世界保健機関（WHO）からの離脱も表明した。それと同時に際立っていたのが中国への厳しい姿勢だった。そもそもなぜ、トランプ氏は中国に強硬な姿勢を取ったのだろうか。それはまさに、大統領の座を勝ち取った 4 年前の選挙戦であり、今回の再選戦略の柱だったのだ。

4 年前、トランプ氏を大統領に押し上げたのは白人労働者層だった。敗れたとは言え、今回の選挙でも、岩盤支持層としてトランプ氏を支えたのは彼らだった。安い製品をどんどん米国に輸出して、工場を閉鎖に追い込み、米国人の仕事を奪っている中国を攻撃し続けることで、こうした労働者からの支持を拡大できるとトランプ氏は確信していたのだ。



米国は今や 1%の富裕層と 99%の中間・貧困層に断絶された超格差社会だ。しかも、その僅か 1%の人たちの資産の合計が、99%の人たちの資産の総額よりも多いとさえ言われている。「中国から奪われた雇用を取り戻す」というトランプ氏の訴えが、まさに 99%の中間・貧困層の中核である白人労働者の心に響いたのは、必然とも言えた。その代表的な地域が、米国東部から中西部にかけての旧工業地帯、「ラストベルト」だった。

今回、トランプ氏は全米で約 7100 万票以上を獲得した。7500 万以上を獲得したバイデン氏には及ばなかつ



たものの、これまで過去最高だった 2008 年のオバマ大統領が獲得した 6900 万票をも上回った。選挙後、バイデン氏は国内融和を掲げており、トランプ氏を支持した白人労働者の存在を、もはや無視できない状況にある。しかも選挙中、トランプ氏に「中国寄りだ」と攻撃されたバイデン氏はトランプ氏と同様に中国批判を繰り返していた。すぐに中国との関係改善に動く可能性は低い。トランプ政権のような単独ではなく、日本をはじめとするアジア、欧州の同盟国と協力して中国に圧力をかけていくだろう。



### お詫びと訂正

週報 NO.19(12 月 11 日発行)

2 頁 ニコニコ献金の 1 行目

誤：坪根 副 SAA

正：伊井 SAA

お詫びして訂正いたします。



### 米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

・小島 庸匡

合計 2020～21 年度累計金額

5,000 円 395,000 円

### 次回例会予告

12 月 25 日(金) 普通例会

・ロータリーソング “それでこそロータリー”

・クラブ協議会（上半期活動報告等）